



9/8(火) 東の玄関口、ただこ浦西駅周辺整備が大きく前進

ただこ浦西駅周辺土地区画整理事業のうち21街区の開発について、優先交渉権者が株式会社プレんティ(安和良太代表)を代表とする4社コンソーシアムに決定したことを発表しました。

事業概要として、200室の都市型リゾートホテル、126戸のレジデンス、カーシェアリング、現代版組踊開発等のにぎわい創出事業についての説明がありました。

安和代表は「浦添市の成長に大きく貢献できる。期待していただきたい」と話し、松本市長は「市民待望のホテル開発などが始まり大変嬉しい。県内外の人がワクワクするような街づくりに関わっていききたい」と語りました。



9/3(木) 敬老者へマスクのプレゼント

浦添ニュータウンでは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、毎年行われていた「敬老会&納涼まつり」の中止を決めました。自粛中においても地域のつながりを大事にしたいと自治会・婦人会・老人会の皆さんの心意気により、三密を避けて各自の自宅で巾着と既成マスクへのワンポイントの布付けを分担して作成しました。マスクはお祝いのプレゼントとして75歳以上の430人分を準備し、お祝いカードを添えて各班長より感染予防のため郵便受けにお届けしました。

地域高齢者から「かわいい手作りマスクが貴重でうれしい」とお礼の声が聞かれました。



9/14(月) ~18(金) BENTO LUNCH TO GO

浦添市を含む県内の飲食店の有志が宜野湾港マリナに集い、弁当のドライブスルー販売「BENTO LUNCH TO GO」を開催しました。事前に各店舗の電話やSNSで注文すると、弁当の受け取りを待ち時間無くスムーズに購入できます。コロナ禍で店内での食事ができない人も安心してお店の味を楽しめる機会となりました。

市内飲食店のお酒と京もん あいのひの弁当を購入した来訪者からは「コロナの影響でお店に行くのを控えていましたが、一か所で好きなお店を回ることができるので嬉しいです」と両手いっぱいの弁当を抱えながら笑顔で話しました。



9/11(金) 満点合格で最高段位 10段を取得

宮城珠算学校に通う宮城琴音さん(浦西中1年)が第398回段位暗算検定試験で満点合格し、最高段位である10段を取得しました。段位暗算検定試験は掛け算、割り算、見取り算の3種目、それぞれ制限時間3分で40問を解きます。琴音さんは全種目とも1問も間違えることなく合計600点満点でした。

宮城忍人校長は「10段は審査も厳しく満点合格はとても珍しい。真面目で素直な練習態度が本番につながったと思う」と評価し、琴音さんは「練習ではなかなか満点が取れなかったのでも嬉しかった。今後はフラッシュ暗算10段といろいろな大会で賞を取れるように頑張りたい」と意気込みを語りました。



9/10(木) ラジオ体操で広がる地域の輪

浦添市西原地域で毎朝6時30分からラジオ体操が行われています。新型コロナウイルスの影響で家にいる時間が増えた中、最初は自宅前で玉那覇和枝さんが1人で始めましたが、自然と地域住民が参加するようになり、今では約10人で毎朝ラジオ体操を続けています。

一緒にラジオ体操をしている参加者は「体が元気になるし、1日のリズムが整う」「ラジオ体操のおかげで朝が待ち遠しい」と話し、玉那覇さんは「体操のあとにみんなでする雑談が楽しい。これからも続けていきたい」と笑顔で話しました。



8/31(月) ~9/1(火) 台風時の避難所と感染症対策

旧盆期間中、大型で非常に強い台風9号が沖縄本島に接近し、本市でも市役所本庁に避難所を開設しました。今年は感染症対策として避難所内に少人数テントを用意し、感染防止を行いました。そのほかにも、入所時に検温やアルコール消毒を実施し、避難先で利用者の不安を軽減できるよう対策しました。

台風の中避難してきた人や後日報道等で市の避難所の様子を知った市民からは「非常時に人が集まる場所でテント設置等の感染症対策がされているのは安心する」と声が寄せられました。



6/15(月) ~9/11(金) フードバンクで広がる笑顔

沖縄県内の在住外国人が安心して生活を送れるように、浦添市国際交流協会(UIRA)が始めたフードバンク。皆さんから寄せられた食品や衛生用品は、UIRAスタッフを通して県内の大学や日本語学校へ通う留学生に届けられました。

食品を受け取ったJSL日本アカデミー沖繩校の学生からは「コロナ禍で不安な気持ちを抱え留学生活を送っていたが、浦添市民として受け入れられているという喜びと感謝の気持ちでいっぱい」との声が届きました。

UIRAの職員は、賛同した皆さんへ「温かいご協力に心より感謝いたします」とお礼の言葉を述べました。